



【自主 敬愛 勇健】 ～生徒が自信をもって生き生きと活動する学校～

<令和6年度 全国学力・学習状況調査の結果から>

今年度の4月に3年生を対象に実施した全国学力・学習状況調査(国・数)の結果から、下記のように、成果や課題を分析し、今後の対策を考えましたのでお知らせいたします。

【成果】

正答率は全国平均をと同等または、上回る結果となりました。領域別でみると、国語は「書くこと」「読むこと」、数学は「図形」「データの活用」に成果が見られます。また、昨年度と同様に、無回答率が全体的に低い傾向にありました。分からない問題でも粘り強く取り組み、自分なりの解答を導き出すことを継続的に行ってきたことが成果として表れていると考えています。

【課題】

領域別でみると、国語は「話すこと・聞くこと」、数学は「数と式」に課題があります。問題別でみると、国語では「資料を用いて、自分の考えが分かりやすく伝わるように話すことができるかどうか」や「話し合いの話題や展開を考えながら、他者の発言と結び付けて自分の考えをまとめることができるかどうか」を問う設問において、正答率が全国平均を10ポイント以上、下回っています。数学では「 n を整数とするとき、連続する2つの偶数を、それぞれ n を用いた式で表す」や「等式の変形」の設問において、正答率が全国平均を7～8ポイント程低く、課題であると考えています。

【対策】

国語では、資料を分析し、読み比べる活動を取り入れ、そこから分かることを友と共有する場を設定することで、「話す・聞く」力の向上を目指していきます。数学では、家庭学習を工夫したりICTを活用したりして、繰り返しのドリル学習を行い、基本的な内容の確実な定着を図ります。授業ではグループ追究などを通して思考力・判断力・表現力の更なる向上を目指します。教科学習全体としては、授業のはじめに「ねらい」を明示し、それに対して生徒が何を学んだかを一人一人が振り返ることを大切にすることを継続して行います。また、自分の考えを明確にして、互いの感想や意見を伝え合うために、ICTの活用を含め、様々な形態で自己を表現する場を設定します。

<「生徒質問紙調査」から見られる課題と対策>

- 1、2年生の時に受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用しましたか。

【週3回以上：本校－40.8% 全県－62.2% 全国－64.4%】

一人一台端末が導入されてから今年で5年目となりました。本校では、学年行事や生徒会活動、各種アンケートなどでもChromebookを活用しています。Chromebookが身近な文房具として位置づいてはいるものの、日常的な授業の中でどう活用していけばよいのか、考えていくのが課題です。各教科では計画的にChromebookを活用していますが、職員研修を行ったり、各教科で情報交換を行ったりして、学習効果が高まるような活用方法を考え、実践していきます。

<「生徒質問紙調査」から見られる生徒の特長>

- 人が困っているときには、進んで助けていますか。

【当てはまる：本校－52.1% 全県－38.1% 全国－38.3%】

- 人の役に立つ人間になりたいと思いますか。

【当てはまる：本校－73.2% 全県－68.3% 全国－68.6%】

- 普段の生活の中で、幸せになることはどのくらいありますか。

【よくある+ときどきある：本校－98.5% 全県－90.3% 全国－89.8%】

本校には、友を大切にし、進んで人助けができる人が多くいます。また、「自分にはよいところがあると思いますか」の問いに対して、「当てはまる＋どちらかと言えば当てはまる」と回答した生徒が8割を超えることから、自己肯定感が高く、自分を大切にしている生徒が多いということが分かります。友や教師との良好な関係が、充実した学校生活と将来に向けて前進する意欲につながっていると考えられます。

また、「国語（数学）の勉強は大切だと思いますか」の問いに対して、「当てはまる」と回答した生徒の割合が全国平均よりもかなり高い結果となっています。さらに、「授業で学んだことを、次の学習や実生活に結び付けて考えたり、生かしたりすることができると思いますか」の問いには、8割以上の生徒が肯定的な回答をしています。このことから、学習することの大切さを理解し、学んだことを生活に役立てようとする意欲は十分にあると捉えることができます。



<「家庭学習」に関するアンケート調査の結果から>

今年度、生徒が進んで家庭での学習に取り組めるように「家庭学習の手引き」を作成し、生徒へ配布しました。4月の学習オリエンテーションでは、5教科（国・数・社・理・英）の家庭学習のポイントを生徒に紹介しています。生徒が家庭学習にどのように取り組んでいるかを調査するためにアンケートを実施しました。



下記がその結果です。

<生徒アンケートの結果>

- ①学校の授業時間以外に、普段（月曜日～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強しますか。
（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）
- ・ 3時間以上（10.9%） ・ 2時間以上3時間より少ない（21.4%）
 - ・ 1時間以上2時間より少ない（35.8%） ・ 30分以上1時間より少ない（20.5%）
 - ・ 30分より少ない（8.2%） ・ 全くしない（3.2%）
- ②土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強しますか。
（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）
- ・ 4時間以上（18.6%） ・ 3時間以上4時間より少ない（11.4%）
 - ・ 2時間以上3時間より少ない（22.3%） ・ 1時間以上2時間より少ない（25.0%）
 - ・ 1時間より少ない（17.7%） ・ 全くしない（5.0%）
- ③学校の授業時間以外に、普段（月曜日～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、PC・タブレットなどのICT機器を、勉強のために使っていますか。（遊びなどの目的に使う時間は除く）
- ・ 3時間以上（3.2%） ・ 2時間以上3時間より少ない（3.8%）
 - ・ 1時間以上2時間より少ない（16.8%） ・ 30分以上1時間より少ない（43.8%）
 - ・ 全く使っていない（32.4%）
- ④今年度、4月に「家庭学習の手引き」を配布しました。この「家庭学習の手引き」を、家庭学習でどのくらい活用したり、参考にしたりしていますか。
- ・ かなり活用、参考にしている（4.6%） ・ たまに活用、参考にしている（26.0%）
 - ・ あまり活用、参考にしていない（34.7%） ・ 全く活用、参考にしていない（34.7%）

生徒の調査結果も参考にしながら、引き続き、生徒の学習習慣の確立と学力向上に向けた取組を考えていきたいと思えます。

生徒一人一人が夢の実現に向けて学び続けられるよう、今後とも本校へのご支援とご協力をいただきますようお願い申し上げます。